

なぜ畑で研修を行なうのか?

貴社にとって必要な人材はマニュアル人間ですか?

天候や生育状況など日々変化するリスクに対応するのが農業。自然環境の中で小さな異変に気づき、チームワークで作業を行なう事で将来のリーダーの可能性を引き出す事ができます。また一人一人の行動に目が行き届くよう研修は最大8名。

居眠り研修とは違い身体を動かし、頭を使う実践的な研修内容となっています。

研修内容:収穫や袋詰といった丁寧でかつスピードを求められる作業に挑戦し、チームワークや作業改善の気づきを得ることができます。

種まきや畑の整地などを通じて仕事の段取りの必要性や農産物がお金になる過程を可視化することで自分の働きと給料について深く考える事ができます。

過去の研修から

- ・2日間の研修で段取りがこんなにも結果に影響を及ぼすとは思わなかった。
- 軽い気持ちで研修に来たが、結構ハードな作業もあった。でも爽快だった。
- ・農業でお金を稼ぐのは大変だと思った。何気なく食べていた野菜に感謝。

お金を稼ぐ本当の意味、チームワークの重要性未体験作業から生まれる気づき、が向上します











農業体験による研修プログラムが目指すもの

農家とは野菜を作って売るといった、突き詰めればたったこれだけ のことを朝から晩まで繰り返す至極シンプルな世界です。

シンプルがゆえに野菜が不出来であったりすればたちどころに収入 がなくなります。

当然暮らしていけません。そして私たちのお金は野菜を買ってくだ さる皆様からやってきます。

そのことを考えない日はありません。きれいごとではなく作った物 以上の生活ができないのが農業なのです。

だからどうすれば沢山の物が作れるのか、どうすれば沢山売れるのか考えない訳にはいきません。

"みなさんのお金はどこからやってきますか?"

"そんなこと考えたことありますでしょうか?"

会社で働くことはいわば社会貢献であり、そして皆一様に社会に生かされているといえます。哲学的ではないにしても「働くということは?」、農作業を通じてその意味を見出して自問自答してもらえたらと思います。

大多数の会社におかれましては営業、製造、総務など部署が多岐に渡り、皆様はその一端を担うことがもっぱらですが、農業の世界においてはどうでしょうか?

農業は生産から販売まで全て農園主の責任の下で行なう事業です。

また農業は捉える側面によっては孤独な作業に映りますが、地域の方との深いコミュニケーションなしにしては成立しない世界です。

会社では報連相でなんとか仕事をこなせますが、農業は地域の方を含めた多くの方が綿 密に結びついてこそ初めて成り立つ産業なのです。

まるで社会の縮図のような農業。そのフィールドを活用し、仲間と共に種を撒き、収穫 し、商品として売り出す、といった一連の作業過程にはきっと沢山の気付きがあるでし ょう。そして実体験として体感してもらうことができるはずです。農業という知られざ る魅惑の世界で働くということ、自己実現していくことを学んでみませんか?





農業体験研修プログラム要項

研修開催日	随時ご相談可能。貴社と相談の上、研修日時を決定致します。	
対象企業	大阪府内の事業者様(業種問わず) ※研修開始時刻に間に合う場合は大阪以外の地域からの参加も可能です。	
研修日数	1~2日間(3ヶ月~12ヶ月の長期利用プランもご用意しています)	
研修時間	8:30~17:00(あくまで目安時間となります) ※研修時間に関しましては個別対応も承りますのでご相談ください。	
定員	2~30名 ※参加希望人数に関しましては個別対応も承りますのでご相談ください。	
費用	実施内容により異なりますので相談の上決定いたします	
研修場所	西阪農園各圃場(ハウス、露地)出荷場 大阪府貝塚市三ツ松 電車: 水間鉄道水間線、三ツ松駅徒歩約5分 車: 大阪市内より高速道路(貝塚料金所)利用で約1時間 ※駐車場は最大3台まで駐車可能。 トイレと更衣スペースは男女別に用意	
準備物	お弁当、飲み物 (コンビニは近くにありますができるだけご持参くださ 長靴、軍手といった作業に必要な物は全てこちらでご用意いたします。 タオルは必要に応じて各自ご用意ください。 当日は多少汚れても構わない服装でお越しください。	
注意事項	危険を伴うような作業、高所での作業、著しく苛酷な作業は一切ありままた作業にあたっては管理責任者のもと十分安全に留意して進めてまいす。万が一体調不良や気分が悪くなった場合はすぐに作業を中止してくい。くれぐれも無理のないペースで参加し、体調管理におかれましては徹底していただきますようお願いします。	
研修保険加入 (※加入必須)	一人/640円	
7π <i>lab</i> ↔ Δαρον 3 3 = ===		

研修参加申込み書

^(フリガナ) 会社名 :	担当者様:	<お問い合わせ先> 〒597-0105 大阪府貝塚市三ツ松1145 西阪農園 西阪和正 TEL 090-7497-8470 FAX 0724-46-0667
連絡先: TEL	e-mail	
参加希望人数: 人	交通手段:	
くその他ご要望等ございましたらご記入くだ	wasshad5@gmail.com	



西阪農園

NISHISAKA FARM



<農園紹介>

大阪府貝塚市にて8代続く代々の農家を20歳で継承。さらなる経営の安定化に向けて季節野菜中心の農園スタイルから周年栽培が可能で消費地に近距離である強みを活かした軟弱野菜農家へ方向転換。特に大阪の特産品でもある菊菜を中心に軟弱野菜を全面に打ち出した新たな西阪農園を確立。

安定供給と品質向上の為に施肥設計によるこだわりの土づくりや最適な水管理を研究し、どの 季節でも安定した品質の菊菜を栽培する技術を体得。地域でも希少な年間通じて菊菜を出荷で きる農家として認知されるまでに成長を遂げ今日に至る。

古き良き伝統的な農業を守りながら、既存のやり方にとらわれることなく常に時代のニーズにマッチした経営方法を柔軟に取り入れ、地域農業の発展、ひいては農業界全体の活性化を意識 した活動を展開。

<主な取り組み>

2008年~近隣の若手農家と共同で、地元の採れたて野菜を集約した「ベジナイト」※1を立ち上げ、地産地消を旗印に地域に特化した集荷場を設立する。

※1 毎週火曜日20時~若手を中心とした加盟農家が集まり、南海貝塚駅近辺にて開催マルシェスタイルの対面販売、飲食店への販売やふるさと納税の受注販売などを行う

2015年~農業ボランティアの受け入れ開始。当初の狙いは農業を志す人の体験先提供や水先案内であったが、「土に触れたい」、「非日常的な体験をしたい」、「家族で収穫体験をしたい」等、様々な理由で参加される方が増え西阪農園を核としたコミュニティーができている。参加される理由は多種多様ではあるが、農業が持つ特有の魅力と都会の喧騒を離れ黙々と行う地道な作業を通じ、各々に満足感や達成感あるいは気づきといった癒しだけではない「何か」を得て帰られる。定期的に参加される方も多く、のべ100人以上の方がボランティアに参加いただいている。

く西阪農園 農園主紹介>



代表 : 西阪 和正・・・農業歴10年 ベジナイト代表 設立当初より品質を管理 菊菜、ホウレン草、小松菜、水菜、しろ菜といった軟弱野菜 を栽培。また季節に応じた旬の野菜も複数品目栽培 品質基準の厳しい生協出荷を中心に主に量販店へ出荷 貝塚市農産物品評会・・・菊菜の部で2年連続最高位受賞

< メディア掲載情報 > 2015年1月 放送 NHKためしてガッテン 2017年2月 放送 NHKお昼のニュース 2017年2月 掲載 朝日新聞2月18日版